

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援・放課後等デイサービス リオカラフル			
○保護者評価実施期間	2025年11月1日 ~ 2025年12月26日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	20名	(回答者数)	11名
○従業者評価実施期間	2025年11月1日 ~ 2025年12月26日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4名	(回答者数)	4名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 1月 16日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・保護者様向けアンケートの満足度（27.28.29）の欄に「はい」と多数回答をいただきましたので、お子様が楽しく通所することができている点が強みだと感じます。	・お子様が、楽しみながら、目標・目的をもって通所できるよう、日々コミュニケーションを取ったり、お子様の意見を反映させながら支援計画や活動計画を立てています。 ・安心して通所していただけるような関係づくりも心がけています。	・今後も継続して、楽しく、安心して通所していただけるような事業所運営を行っていきたいと考えています。
2	・適切な支援環境や職員配置、安心して通所していただけたための運営規程、支援プログラム、利用者負担等についての説明の欄に「はい」と多数回答をいただきました。お子様や保護者様に安心して通所していただけている点が強みだと感じています。	・制度の改定等を確認しながら、安心して通所していただけるよう、適切な事業所運営を職員一同心がけています。 ・保護者様への支援の説明、利用に関する説明等を丁寧に説明するよう心がけています。	・保護者様への丁寧な説明や、適切な事業所運営については、今後もより一層気を引き締めて取り組み、安心して通所していただけるよう努めています。
3	・日々の活動の様子を連絡帳や写真でお伝えし、お子様の様子や表情等を共有している点が強みだと感じます。	・他児童とのかかわりの様子、支援の様子、課題を頑張る姿等、丁寧で過ごす姿を、イメージしやすいようにお伝えしています。 ・利用毎に写真を送り、事業所で過ごす様子や活動の様子を共有するようにしています。	・今後も継続して日々の様子を細かくお伝えしていくことで、お子様についての情報共有をしていきたいと考えています。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・保護者アンケートの問11（保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。）にあるような、地域の子どもと活動する機会が当事業所にはない点が事業所の弱みだと感じています。	・安全面を考え、事業所外活動を積極的に行えていない点が課題だと感じます。また、事業所での活動プログラムに現状、地域の子どもと活動する機会がない為、取り組めていません。	・保護者様の中には、当事業所において地域交流の必要性を感じいらっしゃらない方や、安全に行わなくていいというご意見もある為、保護者様のご意見を反映しながら、より良い形で事業所プログラムを考えています。
2	・保護者アンケートの問14（事業所では、家族に対して家族支援プログラム（ペアレン特・トレーニング等）や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。）にあるような、ご家族様に参加していただける研修会等が開催できていない点が今後改善が必要ではないかと感じています。	・事業所が日曜・祝日が休所日の為、保護者様に研修等で集まっていますが、平日の支援時間以外にないため、研修を行うことができていない点が課題と考えています。	・日々の連絡帳やLINEでのやり取り、定期的な面談の際に、給カードの使い方や、声掛けの方法について共有をしているので、この点は今後も継続して取り組んでいます。 ・研修会を通して、ご自宅での日々の生活がより良いものとなるように、当事業所で行える研修について、実施する時期も含めて検討していきたいです。
3	・保護者アンケートの問18（父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。）にあるような、父母会やイベント等が実施できていない点が課題だと感じます。	・支援を行わず、イベントのみを行う為の開所日が現状ないことが課題です。	・保護者様同士の交流をすることで、お子様の悩みを共有したり、進学についての情報共有等を行うことができる、保護者様にお越しいただける日について聞き取りを行ったり、定期的に開催することで、参加をご希望される方皆様が、参加しやすい形での開催を検討しながら、イベント等の実施を考えていきたい。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		児童発達支援・放課後等デイサービス リオカラフル				
		公表日 令和8年 1月 16日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4		・運営基準を満たした支援室となっている。その中で、学習スペースと自由遊びのスペースを区切って各活動に集中して取り組める環境構成になるよう配慮している。 ・感覚が過敏な子や様々な課題を抱える児童が通所している為、今後も定期的に環境構成を見直しながら支援を行っていくといい。	
	2	利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4		・当日の利用状況の変化にも柔軟に対応するよう努めている。	
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	4			
	5	必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4			
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	4			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		4	・現在、外部による評価は受けていない。 ・必要に応じて、外部評価について検討していく。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4			
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4			
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	4			
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4			
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4			
	15	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4			
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4			

供 給	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4		・チームで検討し、支援を実施している。 ・毎月、職員間で話し合い、活動プログラムを決めており、その際にプログラムが固定化しないよう、利用者にあった内容になるよう意見を出し合っている。	
	19	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	4			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4		・毎日のミーティングを実施している。 ・通園している保育園での活動等も踏まえて、子どもたちの日々の様子を予測し、それに合わせた支援を検討し、実施している。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4			
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4			
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4		・6カ月間のうちにモニタリングを実施して個別支援計画の見直しを行っている。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4			
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4		・保護者や相談支援員を介して情報共有を行っている。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4			
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4			
	28	(28~30は、センターのみ回答)				
	29	地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	30	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)				
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	4		・児童発達支援センターとは、相談支援員を介して、連携を図っている。	
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		4		・リオカラフルに通所している児童は、保育園の通園後に来所するため、保育園との交流が時間的にできていない状況。
	33	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4			
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4		・保護者の参加できる研修の実施はできていない。	・事業所での保護者向けの研修はこれまで取り組んだことが無い為、実施できるかどうか、検討していく。
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4			
	36	児童発達支援計画を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4			

保護者への説明等	37 「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	4			
	38 定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4			
	39 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		4		・現在、父母会等の実施ができない状況なので、保護者様にも意見を聞きながら、必要に応じて実施できるようになるといい。
	40 こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4			
	41 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	4			
	42 個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4		・職員一人一人が外部で利用者の個人情報を話さないよう徹底している。また、書類は鍵付きの書庫に保管している。	
	43 障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4			
	44 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		4	・防犯の観点から、利用者やその保護者以外の事業所への立ち入りを許可していない為、実施できていない。	
	45 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4			
非常時等の対応	46 業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4			
	47 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	4		・共有している。	
	48 食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4		・リストを作成し、共有している。	
	49 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4			
	50 こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4			
	51 ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4		・ヒヤリハット発生時には、報告書を作成し、書面にて職員間での共有、記録を実施している。	
	52 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4			
	53 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	4			